

各章のタイトル（一部仮題）と著者名（敬称略）

第1章 地球大気の世界と現在 日本大学	森山 茂	第6章 天気変化の舞台裏<総観・メソ気象> 気象庁	西本洋相
第2章 大気の放射と温度構造 東北大学	安田延寿	気象研究所	吉崎正憲
第3章 大気の運動のしくみ 東京大学海洋研究所	新野 宏	第7章 身近な気象<局地気象> 東北大学	木村富士男
第4章 雲と降水 気象研究所	村上正隆	第8章 システムとして進化する天気予報 気象庁	隈 健一
第5章 地球をめぐる大気の流れ<大気の大循環> 京都大学	木田秀次	気象庁	永沢義嗣
		第9章 気候の変動と地球環境問題 北海道大学	山崎孝治



シンポジウム「陸上生態系と地球環境」について

(第43回日本生態学会実行委員会・IGBP/GAIM 研究会 共催)

日 時：1996年3月30日（土）午後3時～6時

場 所：都立大学（八王子）

講演者：

1. 及川 武久（筑波大学・生物科学系）
「シンポジウム開催の趣旨説明」
2. 和田英太郎（京都大学・生態研究センター）
「地球化学的手法を用いた陸上生態系の解析」
3. 小池 孝良（東京農工大学・農学部）
「樹種の特性から見た陸上生態系」
4. 野上 道男（都立大学・理学部・地理学科）
「地球規模で見た植物季節と気候値の対応，そして生態系の分布」

5. 三枝 信子（筑波大学・生物科学系）

「陸上生態系の微気象解析」

6. 馬淵 和雄（気象研究所・気候研究部）

「気候モデル用の陸面植生モデル（EAIM）について」

7. 総合討論

問い合わせ先：

(一般的事項) 都立大学・第43回生態学会準備委員会
TEL 0426-77-1111 (代)(内容について) 筑波大学・生物科学系 及川 武久
TEL/FAX 0298-53-6661 (直通)

逆に、春季に専門分科会方式をもってくる方がよい。
(注：この点について、他に特に理由がなければ、改革案提案者も賛成です)

・ポスター発表は、発表数をこなす観点からは必ずしも口頭発表より効率的とは言えないので、よくシミュレーションを行って確かめる必要がある。

第12回の常任理事会（昨年11月）では全国理事会の議論が再確認され、次回の講演企画委員会で、改革案に沿う方向で大会運営を実行する場合の問題点等について検討し、その結果を常任理事会に報告するよう求められました。

意見の募集と今後の予定

具体的な改革案の細目が示されていないため、意見を出しにくい面があるかもしれませんが、今後の議論の参考のため、皆様からの意見を広く募集します。ご

意見・ご要望を講演企画委員会事務局（連絡先下記）までお寄せ下さい。また、本誌「会員の広場」へこの問題についての投稿も歓迎いたします。

委員会では、頂いた意見を参考に次回の会合（3月初旬）から本格的な議論を行い、大会講演会改革の具体案を作る予定です。そして、適当な機会（早ければ1997年春季大会）に試行し、それに対する会員の皆様の反応（ご意見）を集約し、さらに改善を図っていきたいと考えております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先：〒305 つくば市長峰1-1

気象研究所 予報研究部 講演企画委員会
事務局 藤部文昭

FAX：0298-53-8649

(講演企画委員会 担当理事 白木正規・永田 雅)



海洋理工学会平成8年度春季大会のお知らせ

目的：海洋の理学と工学の複合領域に関するシンポジウムを開催し、新技術開発・研究を促進させ、他分野の研究者、技術者との交流の機会を提供することを目的とする。

期日：1996年4月5日(金)～6日(土)

場所：東京水産大学（東京都港区港南4-5-7）

代表者：杉森康宏（東海大学海洋学部）

内容：海洋理工学会に関する研究発表並びに講演会プログラムは3月中旬に配布致します。

参加費：日本気象学会会員：3,000円
(一般：3,500円)

事務局（連絡先）

〒424 静岡県清水市折戸3-20-1

東海大学海洋学部海洋工学科内

海洋理工学会事務局 千賀康弘

TEL 0543-34-0411 EXT 3424



教官公募

下記の人事について公募します。

(北海道大学低温科学研究所)

記

1. 公募人員

助手1名

2. 研究内容

リモートセンシングを用いて寒冷圏の自然環境(雪氷, 海岸, 植生等)を研究しようとする人を希望します。

3. 着任時期

決定後なるべく早い時期

4. 提出書類

①履歴書

②研究業績リスト

③主要論文別刷3篇以内(リストに○印)

④これまでの研究概要(A4版1枚)

⑤これからの研究展望(A4版1枚)

⑥推薦書又は応募者についての意見を聞ける人1～2名の氏名及び連絡先

5. 公募締切

平成8年4月30日(火)必着

6. 書類提出先

〒060 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所
所長 秋田谷英次

7. 問い合わせ先

北海道大学低温科学研究所
教授 小林 大二
TEL : 011-706-6891
FAX : 011-706-7142

8. その他

封筒の表に「リモセン助手応募書類」と朱書し、書留でお送りください。



助教授公募

下記の人事について公募します。

(北海道大学低温科学研究所)

記

1. 公募の対象

寒冷海洋圏科学部門（化学）の助教授1名

当部門では寒冷海洋域が地球全体の気候システムにおいて果している役割の研究を中心課題としています。この度の公募では、この中で化学的手法を用いて大気や海洋、或は両者における物質循環過程を研究している人を希望します。また、国際共同研究や物理系研究者との交流を積極的に推進できる人を希望します。なお、大学院は北海道大学大学院地球環境科学研究科を担当して頂く予定です。

2. 着任時期

決定後なるべく早い時期

3. 提出書類

- ①履歴書
- ②主な研究歴
- ③研究業績リスト
- ④主要論文の別刷5篇以内（リストに○印）
- ⑤これまでの研究の概要（2千字程度）

⑥今後の研究計画、抱負等（2千字程度）

⑦応募者についての意見を聞ける人2名（連絡先）

4. 応募、推薦の締切

平成8年3月30日必着

5. 現有スタッフ

寒冷海洋圏科学部門（化学）

教授 河村 公隆

助手 大河内直彦

（平成8年3月1日赴任予定）

6. 提出書類送付先

〒060 札幌市北区北19条西8丁目

北海道大学低温科学研究所 所長 秋田谷 英次

封筒の表に「寒冷海洋圏科学部門助教授（化学）応募」と朱書し、書留で郵送して下さい。

7. 問い合わせ先

寒冷海洋圏科学部門教授 若土 正暁

TEL. 011-706-5480

E-mail: TigersV10@lt.hines.hokudai.ac.jp

又は

竹内謙介

TEL. 011-706-5470

E-mail: takeuchi@clim.lowtem.hokudai.ac.jp